

Central Daily Market Report

2021年12月17日(金)

セントラル短資株式会社 総合企画部

●資金需給

単位：億円	2021年12月17日		2021年12月20日		2021年12月21日	
	需給速報		需給予想		当社予想	
銀行券	▲ 2,400		▲ 2,000		▲ 2,000	
財政	▲ 2,600		74,400		1,000	
資金過不足	▲ 5,000		72,400		▲ 1,000	
金融調節	スタート	エンド	スタート	エンド	スタート	エンド
貸出						
全店共通						
国債買現						
国債売現						
国庫短期証買入						
国債買入						
CP等買入	5,000	▲ 800		▲ 300		
貸出支援基金(成)						
貸出支援基金(貸)						
被災地支援						
社債等買入				▲ 600		
新型コロナ対応金融支援特別						
E T F買入						
国債補充供給	▲ 100	200		100		
※ドル資金供給用担保提供供給						
当預増減	▲ 700		71,600		▲ 1,000	
当座預金残高	5,306,900		5,378,500		5,377,500	
準備預金残高	4,700,600					
積み終了先	4,699,900					
超過準備	4,552,100					
非準備預金先	606,300					
積み期間(12/16~1/15)の所要準備額					3,769,300	
準備預金進捗率	実績	99.85%	日数	12.90%		

●2021年12月17日の市場動向

<インターバンク市場>

本日の無担O/N物は、各業態から堅調な資金調達需要が見られ、昨日よりやや高い水準で取引が行われた。立ち上がりは、邦銀・外銀業態などから▲0.04~▲0.01%の水準で調達が見られた。一巡後は、▲0.07~▲0.03%のレンジの出合いで推移した。ターム物はショートタームで引き合いが散見された。

<レポ市場>

GC T/Nは、▲0.085~▲0.080%程度での出合い。SCはロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。

<短国市場>

17日のアウトライト市場は動意なく閑散な中、特段の出合いは見られなかった。

<CP市場>

CP市場は、入札が少なく閑散であった。発行レートは、概ね横ばい圏で推移した。

●入札結果

本日は財務省による国債等の入札は実施されませんでした。

●2021年12月20日の予定

*7-9月期の資金循環統計速報

●短期金融市場関連指標

2021/12/17	無担(速報)			有担(速報)			短国	東京レポレート	JGB新発10年債		日経平均株価		ドル/円	
	単位：%	最低	最高	平均	最低	最高			平均	直近値	前日比	15時時点	前日比	為替(9時)
O/N	▲ 0.070	0.001	▲ 0.028				-	▲ 0.085	0.044	0.004	28,545.68	▲ 520.64	113.66-68	113.65-67
T/N	▲ 0.040	▲ 0.010	▲ 0.032				-	▲ 0.087						
S/N							-	-						
1W	▲ 0.020	▲ 0.015	▲ 0.019				-	▲ 0.091						
2W							-	▲ 0.099						
3W							-	▲ 0.102						
1M	▲ 0.025	0.005	▲ 0.006				-	▲ 0.102						
3M							▲ 0.118	▲ 0.111						
6M							▲ 0.119	▲ 0.121						
1Y							▲ 0.117	▲ 0.132						
									日付	12/10	12/13	12/14	12/15	12/16
									日銀当預残	5,230,900	5,239,100	5,251,900	5,341,300	5,307,600
									準備預金残	4,697,300	4,654,700	4,665,200	4,753,200	4,693,900
									マネタリーベース	6,467,400	6,476,800	6,491,700	6,583,300	6,553,000
									無担O/N加重平均	▲0.008%	▲0.009%	▲0.014%	▲0.022%	▲0.033%
									コール市場残高	175,343	154,740	163,780	160,027	192,164
									うち無担	154,891	136,932	145,813	141,874	174,171
									うちO/N	73,303	60,479	72,310	68,846	99,063
									うち有担	20,452	17,808	17,967	18,153	17,993

●オペ結果

種類	オフ額(億円・百万ドル)	スタート日	エンド日	貸付利率	応札総額(億円・百万ドル)	落札総額(億円・百万ドル)	按分レート・利回較差・価格較差	全取レート・利回較差・価格較差	平均落札レート・利回較差・価格較差	按分比率
国債補充供給(国債売現先)・即日(午前オフ分)		2021/12/17	2021/12/20	▲ 0.350	96	96		▲ 0.350	▲ 0.350	
国債補充供給(国債売現先)・即日(午後オフ分)		2021/12/17	2021/12/20	▲ 0.350	0	0				

●日銀金融政策決定会合・結果

●当面の金融政策運営について

- 新型コロナウイルス感染症は、引き続き内外経済に大きな影響を及ぼしているが、わが国の金融環境は、全体として改善している。大企業についてみると、CP・社債市場は良好な発行環境となっており、貸出市場でも予備的な流動性需要に落ち着きが見られる。中小企業の資金繰りについては、総じてみれば改善傾向にあるが、対面型サービス業など一部には、なお厳しさが残っている。こうした情勢を踏まえ、日本銀行は、本日の政策委員会・金融政策決定会合において、中小企業等の資金繰りを引き続き支援していく観点から、新型コロナ対応資金繰り支援特別プログラムの一部について、以下のとおり、期限を2022年9月末まで半年間延長することを決定した。
 - 新型コロナ対応金融支援特別オペ(全員一致)
 - 感染症対応にかかる中小企業等向けのプロパー融資分は、現行の取扱いのまま、期限を半年間延長する。②感染症対応にかかる中小企業等向けの制度融資分は、2022年4月以降、貸出促進付利制度上の付利金利を0%(カテゴリーⅢ)、マクロ加算残高への算入は利用残高相当額としたうえで、バックファイナンス措置として期限を半年間延長する。③大企業向けや住宅ローンを中心とする民間債務担保分は、期限どおり、2022年3月末をもって終了する。
 - CP・社債等の買入れ

CP・社債等の買入れ増額措置は、期限どおり、2022年3月末をもって終了する。2022年4月以降は、感染症拡大前と同程度の買入れベースに戻し、CP・社債等の買入れ残高を、感染症拡大前の水準(CP等：約2兆円、社債等：約3兆円)へと徐々に引き下げていく。
- 金融市場調節方針、長期国債以外の資産の買入れ方針については以下のとおりとする。
 - 長短金利操作(イールドカーブ・コントロール)(賛成8反対1)

短期金利：日本銀行当座預金のうち政策金利残高に▲0.1%のマイナス金利を適用する。
長期金利：10年物国債金利がゼロ%程度で推移するよう、上限を設けず必要な金額の長期国債の買入れを行う。
 - 資産買入れ方針(全員一致)
 - ETFおよびJ-REITについて、それぞれ年間約12兆円、年間約1,800億円に相当する残高増加ペースを上限に、必要に応じて、買入れを行う。
 - CP等、社債等については、2022年3月末までの間、合計で約20兆円の残高を上限に、買入れを行う。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。
 セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長(登金)第526号 日本証券業協会加入